

環境フォーラム2009

- 主 催：電機・電子5団体
- 幹事団体事務局：(社)電子情報技術産業協会 環境部
- 会 場：砂防会館
- 参加者数：約300名(1日目：130名/2日目：170名)

概 要

本年度も、「電機・電子5団体 環境フォーラム2009」を6月4日(木)、5日(金)の2日間、砂防会館(東京都千代田区平河町)において開催しましたので、その概要を報告します。

今回のフォーラムでは、5つのテーマ(地球温暖化、生物多様性、化学物質、環境標準化・環境配慮設計、資源循環)を中心に、各分野で関心の高い話題を選び皆様にご提供させていただきました。具体的には、以下の内容です。

- ①地球温暖化対策、グリーンIT、東京都の気候変動対策
- ②企業の生物多様性保全活動
- ③化学物質管理とPFOSの取り扱い、REACH規制等の最新動向

- ④TC111(環境配慮設計の国際標準)、カーボフットプリントの国際動向
- ⑤地上資源のリサイクル、廃電気製品からの金属リサイクル

これらの分野で、電機・電子業界に関わる環境問題の課題を明らかにするとともに、その取り組みについて広くご紹介させていただきました。

【主催5団体】

- 社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)
- 財団法人 家電製品協会 (AEHA)
- 情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)
- 社団法人 日本電機工業会 (JEMA)
- 社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)



プログラム

□6月4日(木) 10:00～17:25

○テーマA：地球温暖化

(1) 今後の地球環境問題について

近藤智洋 氏（経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 環境経済室長）

(2) 地球温暖化対策に向けた電機・電子業界の取組み

高橋庸一 氏（電機・電子温暖化対策連絡会 議長（株式会社日立製作所））

(3) グリーンITの最新動向

住田孝之 氏（経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課長）

(4) 東京都の気候変動対策について

大野輝之 氏（東京都環境局 都市地球環境部長）

○テーマB：生物多様性

(5) いまなぜ企業と生物多様性なのか

御厨英美子 氏（株式会社レスポンスアビリティ アソシエイト・コンサルタント）

(6) 企業の生物多様性保全活動

益子晴光 氏（株式会社リコー 社会環境本部 環境コミュニケーション推進室長）

□6月5日(金) 10:00～17:25

○テーマC：化学物質

(1) これからの化学物質管理とPFOSの取り扱い

大歳幸男 氏（株式会社環境情報コミュニケーションズ 代表取締役社長）

(2) REACH規制等の最新動向とJAMPの取組み

古賀剛志 氏（JAMP前運営委員長（富士通株式会社））

○テーマD：環境標準化・環境配慮設計

(1) IEC TC111の標準化状況

森紘一 氏（IEC TC111 国際議長（富士通株式会社））

(2) カーボンフットプリントの国際動向

中庭知重 氏（社団法人 産業環境管理協会 製品環境情報国際室 主査）

○テーマE：資源循環

(1) 地上資源のリサイクル

馬場研二 氏（株式会社日立製作所 新事業開発本部 資源循環推進室 室長）

(2) 廃電気製品からの金属リサイクル

白鳥寿一 氏（東北大学大学院 環境科学研究科 教授）